



2022年2月7日

各 位

会 社 名 インパクトホールディングス株式会社
 代 表 者 代表取締役社長 福井 康夫
 (コード番号：6067 東証マザーズ)
 問合せ先 代表取締役副社長 寒河江 清人
 (TEL. 03-5464-8321)

2021年12月期通期連結業績予想の上方修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向を踏まえ、2021年6月22日に公表した2021年12月期通期業績予想（以下「前回発表予想」という）を上方修正することとしましたので、お知らせいたします

記

1. 2021年12月期連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 13,000	百万円 1,600	百万円 1,450	百万円 930	円銭 142.73
今回修正予想 (B)	13,334	1,678	1,649	1,209	184.91
増減額 (B-A)	334	78	199	279	—
増減率 (%)	2.6	4.9	13.7	30.0	—
(参考) 前期実績 (2020年12月期)	11,074	1,029	28	△187	△30.08

2. 修正の理由

2021年12月期の通期連結業績予想は、2021年12月期において新型コロナウイルスの感染拡大が収束しないという前提のもと、新型コロナウイルスによる当社グループにおける国内外の事業への影響についてある程度合理的に見積ることが可能となった段階で策定したものであります。

2021年12月期においては、当社のHRソリューション事業は新型コロナウイルス感染拡大を懸念したクライアントからの店頭販売員受け入れの自粛の動きがあり、ラウンダー事業や試飲試食等の推奨販売事業にとっては非常に厳しい状況だった反面、コロナワクチン接種会場への人材派遣業務の受注拡大、コールセンター事業やデバック事業においても業績が順調に推移いたしました。加えて、IoTソリューション事業においても、小型デジタルサイネージの高付加価値商材であるPISTA（フィールド・トラッキング・ソリューション）のローンチによりオンライン化されたサイネージのコンテンツの自動更新が可能となったことで、オンライン利用料やASPサービス利用料などのストック収益が増加し、飲食チェーン向けDX推進の一環として開始したオンラインのタッチパネル式デジタルサイネージであるテーブルトップオーダー端末の受注も拡大し、売上高は順調に推移いたしました。一方で、新型コロナウイルス感染拡大に関連して発生すると想定した休業手当等の営業外費用については、グループ内における人材リソースを好調な事業に集中させるなど人的資源の有効活用を実現したことで大幅に削減することができました。

この結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、いずれも前回発表予想を上回る見込みとなりましたため、上方修正するものであります。

※本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際に業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以 上